

そよの子



暑い日が続きます。早いもので、7月17日は1学期の終業式でした。4月、子供たちに『将来の夢』と、それを叶えるために『今年頑張ること』を書いてもらいました。夢に一步步近づくために、夏休みを有意義に過ごしてほしいと思います。本年度の学校経営のテーマは、『人を大事にする』ことです。『自分を大事にする』とは、頑張っている自分をほめてあげるとともに、自分磨きをすることでもあります。『自分磨き』とは、なりたい自分(夢)に近づく努力をすることです。もう、すでに毎日努力している人もいますが、節目にあたり、振り返りをしてほしいと思います。終業式では、「夢を叶えるためには、3つのことが大切だ」という、あるアスリートの方のお話を紹介しました。

① 周りの人に「ありがとう」を言うこと。周りの人に感謝の言葉を伝えていると、周りの人は、自分を支えてくれて、協力してくれる。そのことで、夢に近づく。周りの応援と「ありがとう」が重なり、夢が叶う。

② チャレンジすること。失敗を怖がらないでやってみること。チャレンジの先にあるのは、成功か失敗かではなく、成功と成長である。

③ 日常を大切にすること。あいさつをする、時間を守る、整理整頓をする、掃除をする等、普段のことをきちんとやることで、メンタルが安定し、強くなる。

このお話は、大谷翔平選手への周りの人からの評価(お話)とつながります。昨年度の町の講演会にて次のようにお話を伺いました。多くの人が「すごいなあ〜。」と思っている、夢を叶えた人(?)である、大谷翔平選手は、①「ありがとう」を言う。(感謝の気持ちを言葉にして伝えている。)

②「ごめんなさい」を言う。(正直。) ③悪口を言わない。 ④毎日練習記録をつけている。

(継続力抜群。反省を生かす。) ⑤自分からあいさつをする。(自分からコミュニケーションをとる。) ⑥時間をまもる。マナーがよい。 ⑦事故やけがをふせぐために、かたづけをする ⑧ごみをひろう。

つまり、『日常を大切にしている人』という評価を受けている人です。日常を大切にしているから、不安や心配が減り、慌てない。そのことが、自信につながっていると評価されています。

児童の皆さんも、ぜひ、1日1日を大切に、『自分磨き』をしてください。『自分大事! みんな大事! 一緒にチャレンジ!』 8月28日(金)の2学期始業式に、たくさん話を聞かせてください。

【読書感想文について】先日、学校司書の先生が、お昼の校内放送で、すてきな話をしてくれました。

私は、子供の頃、本を読むのは大好きでしたが、読書感想文を書くのは嫌いでした。どう書けばいいのかわからなくて、あらすじをダラダラ書いていました。大人になって、読書感想文は、とても

大切な2つの力を伸ばすのにぴったりな課題だと思っています。それは、『考える力』と『伝える力』です。まず、1つ目の『考える力』です。読書感想文を書くとき、考える力は2回使います。1回目は、本を読むときです。「わ～っ、おもしろい。」とか、「なるほど～。」とか、読みながら使います。2回目は、書くときです。「何を書こうかな。」と考えるときです。次に、2つ目の伝える力です。読書感想文は、言葉で伝えます。先日読んだ新聞記事に、『読書感想文、どう書く?』という記事がでていました。この記事を書いた人は、「本を読み終えて最初の一言を、まず、正直に書くこと。そして、それを詳しく書くといい。」と書いていました。これをもとに、図書室だより(7月号)で紹介している『こぎつねボックス』で、読書感想文を書いてみました。

『わたしも家出してみたい』

この本を読んで、わたしも家出してみたいと思いました。ボックスが家出したいと思った気持ちがすごくよくわかるからです。大人でも家出したいと思うことはあります。どんな時かという、ボックスと同じで、家族とけんかをしたときです。家出をするなら、わたしならどこへ行くかと考えました。実家に帰ったら、わたしの父と母に『子供がいるのに家出するなんて・・・』と怒られそうです。持っているお金を好きに使って、飛行機に乗って、沖縄に行きたいなと思いました。読みたい本をたくさんリュックに詰めて持って行って、海の見えるところで、波の音を聞きながら、ゆっくり本を読めたらどんなにいいだろうと思いました。

ボックスのお父さんとお母さんとお姉さんは、ボックスが本当に家出したことに最初は気が付きませんでした。でも夕方になって気が付いて、慌てて探します。ボックスがいないとわかったとき、お父さんとお母さんは、すごく怖かったらうなと思います。もし、わたしの子供がいなくなっていたら、ふるえがとまらないと思います。・・・

というように、書いてみました。アドバイスの通り、自分の気持ちに正直に書きました。どうですか?案外、書けそうでしょ?うまい言葉が見つからないときは、国語の教科書の一番最後のページにある「ことばの宝箱」で紹介されている言葉を使ってみましょう。書きたいことや言いたいことが、より相手に伝わりやすくなると思います。・・・

本を読んで、思ったことを言葉で伝える。想像する。表現する。・・・『自分磨き』に、とてもよい学習になりそうです。

【お知らせ】

※ 8月21日(金)16:00から資源回収のPTA作業を行います。回収物は、【一升瓶(茶色のみ)、ビール瓶、アルミ缶】のみです。

○ 一升瓶(茶色のみ)・ビール瓶は、蘇陽小学校駐車場(外トイレ東側)へ置いてください。アルミ缶は、運動場奥の小屋の中へ置いてください。

○ 回収できないもの【スチール缶、茶色以外の一升瓶、新聞紙・雑誌】や(ふた、段ボール、ペットボトル など)は、持ち帰ってください。ご協力よろしくお願いします。

※ 蘇陽小学校の運動会は、10月に午前中開催の予定です。